

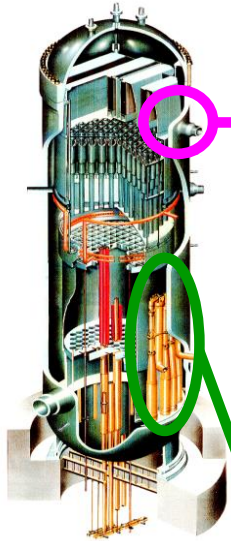
福島第二原子力発電所3号機 原子炉内構造物の点検の完了について

【参考資料】
2015年7月17日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

当所3号機は、東北地方太平洋沖地震による影響に関する知見の拡充等を目的とした原子炉内構造物の目視点検を、7月10日より実施していましたが、7月16日にすべての原子炉内構造物について、点検が完了しました。

点検した結果、対象の原子炉内構造物の機能に影響を与えるような異常はありませんでした。

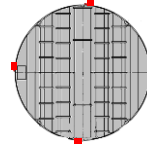
●点検対象機器および点検結果（写真）



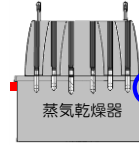
【原子炉圧力容器】

○蒸気乾燥器耐震用ブロック（4箇所）

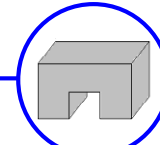
ステンレス鋼の凹型を逆さまにしたような部材で、蒸気乾燥器側面中央部に溶接され、蒸気乾燥器支持ブラケットの上には凹部をはめ込み、蒸気乾燥器を支持するためのもの。



【平面図】



【断面図】



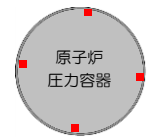
【拡大図】



（平成27年7月16日撮影）

○蒸気乾燥器支持ブラケット（4箇所）

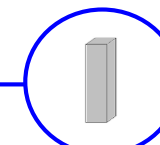
ステンレス鋼の板で、原子炉圧力容器内壁に溶接され、蒸気乾燥器を支持するもの。



【平面図】



【断面図】



【拡大図】

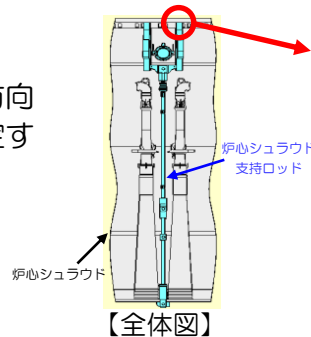


（平成27年7月16日撮影）

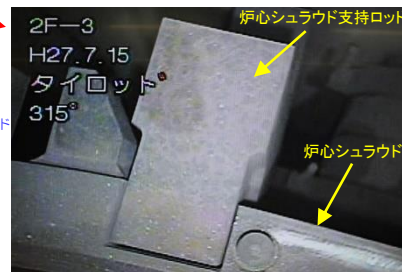
○炉心シュラウド支持ロッド（4箇所）

炉心シュラウドを上下方向に挟み込み、締付け固定する支柱。

※ 炉心シュラウド支持ロッドは、応力腐食割れ対策として、2・3号機に設置。



【全体図】

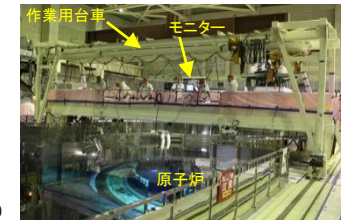


（平成27年7月15日撮影）

【点検方法】

原子炉の上部にある作業用台車から、原子炉内等にある点検対象物まで水中カメラを吊り下げ、台車上でモニターに写る映像を目視で確認しました。

（平成27年7月14日撮影）



■確認された不適合について

- 原子炉内構造物点検において、炉心シュラウド支持ロッド（315°設置）の構成部品である炉心支持板ウエッジ（くさび状の部材）のウエッジ締め付け用ボルト（直径約3cm）のギア部と回り止めクリップがかみ合っていないことが確認されました。
- 確認された不適合は、機器の健全性に影響を与えるものではありません。

福島復興への責任を果たすために、福島第二原子力発電所は引き続き安定した燃料の冷却を継続してまいります。